

宮城県石巻市河南地区では、今年で11回を数える「かなんクロスカントリー大会」が行われています。この大会は地域の体育・文化複合施設「遊楽館」を会場に、小学生〜一般の部まで五つのコースで開催されます。平成25年からは特別支援学校や特別支援学校在籍の生徒を対象とした「さくらコース」が新設されました。さくらコースの部には県立石巻支援学校の中学・高等部の生徒が中心となつて参加し、今年は高等学園の生徒の参加も見込まれています。

地域のスポーツ少年団や部活動単位での参加も多く、地域の方々が大勢沿道に並んで声援を送ってくれます。支援学校の生徒にとつて、地域との交流を実感し深める大きな機会

地域の人々の声援受けクロスカントリー



クロスカントリー大会のスタート地点に立つ生徒たち

イドマラソンなどもあります。こちらは車いすの部を設けるなど、さらに参加の枠を広げた取り組みを行っています。

パラリンピアンの方活躍で障害者スポーツへの注目が高まっています。視覚や聴覚、肢体不自由の障害者スポーツだけでなく、知的障害者も適切な支援で競技スポーツや生涯スポーツに親しんでいるということを、こうし

となつています。昨年は12人の参加生徒のうち、入賞者が半数の6人も12月に大会が開催されます。今回は10人がエントリーし、学校の日々の活動の中で練習に励んでいます。

また、石巻地域では社会福祉法人が主となって運営するリバーサ立石巻支援学校教諭)

た地域の大会を通して理解し支援していただきたいと思います。私たちは、障害の有無にかかわらず、誰もが好きなスポーツを続けられる、そして世界の舞台を目指す権利を持つ、そんな社会を築いていきたいものです。

(菅野真資・宮城県立石巻支援学校教諭)